

校長通信「学ばん共に」

終業式

その8 「『夢レポ』…真っ直ぐな気持ち」(2022/7/22) (1 学期終業式式辞 オンライン)

「夢レポ」について話したいと思います。校長からの課題として、「未来の夢や希望」「今年度の目標」「目標達成に向けての努力点」などを全校生徒のみなさんに書いてもらいました。提出された「夢レポ」を1枚1枚読みながら、いろいろなことを感じました。でも、最も強く感じたのは、みなさんの夢に向かう「真っ直ぐな気持ち」でした。

大人と呼ばれる年齢に近づくと自分の夢を文章に書いたり、人前で語ったりすることに抵抗感を感じるようになります。なぜなら、その夢に近づくための道が容易でないことがわかるからです。きっと、この「夢レポ」を書くのに相当悩んだ人がいると思います。何度も書き直した人もいることでしょう。本当は別の夢があるけれど、課題だからとりあえず書いた…という人もいるかもしれません。私はそれでも素晴らしいことだと思っています。

私は国語の教師ですから、どのような気持ちで書いたものかということは、字の書きぶりや文章の内容から、なんとなく感じるができます。だから、迷いやためらいがありつつも、言葉を選び、「夢レポ」を誠実に書いた可美中生がたくさんいるとわかりました。とても嬉しく思いました。

だから、その「真っ直ぐな気持ち」に感謝の思いをこめ、私なりのメッセージを一人一人に書きました。三者面談で担任の先生を通して返却しましたが、みなさん…私のメッセージを読んでくれたでしょうか。まだ、もらっていない人、これから面談がある人は楽しみに待っていてください。

「夢が変わったので書き直したい」という人は、「夢レポ」の余白に書き足してもいいでしょう。「まだ夢が見つからない」という人もいると思います。でも、夢探しの旅は、まだまだ始まったばかりです。自分にしか選べない、自分だけの旅を楽しんでください。夢ははっきりしていなくても興味のある方向に進んでいたら、実は夢に向かって歩いていたということもあります。あせらず、のんびり、自分の足

で歩いていきましょう。

夏の大会…できるかぎり多くの会場にカメラをもって足を運びました。どの会場にも「心に残る場面」がありました。「胸が熱くなる場面」がいくつもいくつもありました。今思い出してみても、心が大きく揺れる本気の戦いがありました。「ああ、みんなこの日のためにがんばってきたんだな」とあらためて思いました。顧問の先生方も、いっしょになってがんばってきたんだなと感じました。

目標として掲げたところにたどり着くのは簡単ではありません。しかし、最後の最後まで力の続く限り、仲間を信じて戦った可美中生と顧問の先生方を、私は誇りに思っています。そして、陰で支えていただいた保護者の方々に心から感謝しています。

賞状を手にした人も、力を出し切れた人も、悔しい思いをした人も、思ったより力が出せなかった人も…チャレンジしたからこそ得られるものがあります。どうか、それを大切にしてください。これからの人生を生き抜く力の1つになると、私は信じています。(…中略…)

さて、皆さん、明日からいよいよ夏休みです。今年39日間、去年より4日多い休みです。3年生の皆さん！皆さんが目指している進路を実現するために、この夏休みの過ごし方はとても大切です。1日1日を大切に、力をつける夏休みにしてください。1、2年生の皆さん！皆さんは、この夏休みに継続して取り組めるものを何か1つでも見つけてください。「自分を変えるのは自分」です。何となく夏休みが過ぎ去ってしまったと8月末に思わないよう、何かにチャレンジする生活を送ってください。

そして、最後に、毎年掲げていますが「求めて学ぶ夏」…どの学年も自ら進んで行動する有意義な休みになるよう願っています。そして、可美中学校の全ての皆さん、8月31日の2学期・始業式に、元気な顔で集まりましょう。以上を、1学期終業式のお話とします。最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。

(北村健治)